

公益財団法人 臨床薬理研究振興財 2023 年度（第 48 期）事業報告

2022 年度 第 3 回理事会(2023 年 2 月 10 日)の決定に基づき、以下の事業を実施した。

1. 2023 年度(第 48 回)研究奨励金等の交付（定款 第 4 条第 1 項第 1 号、第 2 号）

(1) 研究奨励金

◆募集内容

- ・ 募集研究分野：臨床薬理研究
- ・ 募集件数（公募） 27件程度
- ・ 交付金額 27件 各300万円
- ・ 募集期間 2023年6月12日～8月31日
- ・ 応募件数 89件

◆選考経過

- ・ 第1回選考委員会開催（募集方法等の審議） 2023年5月31日
- ・ 選考委員による申請書の評価 2023年9月4日～10月10日
- ・ 第2回選考委員会開催（交付対象者候補の選考） 2023年10月27日

◆交付対象者の決定、通知及び交付

- ・ 2023年度第2回理事会にて決定 2023年11月14日
- ・ 決定通知完了 2023年11月17日
- ・ 交付対象件数 27件、附属明細書-1に掲載
- ・ 交付金額 8,100万円（各300万円）
- ・ 贈呈証書授与完了 2024年1月25日
- ・ 交付完了 2024年3月5日

(2) 海外留学助成金

◆募集内容

- ・ 募集人数（公募） 2名以内
- ・ 交付金額 2件 各750万円/年、原則2年間交付
- ・ 募集期間 2023年6月12日～8月31日
- ・ 応募件数 29件

◆選考経過

- ・ 第1回選考委員会開催（募集方法等の審議） 2023年5月31日
- ・ 選考委員による申請書の評価 2023年9月4日～10月10日
- ・ 第2回選考委員会開催（交付対象者候補の選考） 2023年10月27日
- ・ 交付対象者候補の面接実施 2023年10月31日、11月10日

◆交付対象者の決定、通知及び交付

- ・ 2023年度第2回理事会にて決定 2023年11月14日
- ・ 決定通知完了 2023年11月17日
- ・ 交付対象者 2名、附属明細書-1に掲載
- ・ 交付金額 1,500万円（各750万円）
- ・ 贈呈証書授与完了 2023年12月22日
- ・ 交付完了 2024年1月15日

(3) 若手研究支援

◆募集内容

- ・ 募集研究分野：臨床薬理研究
- ・ 募集件数（公募） 6件程度
- ・ 交付金額 6件 各50万円/年、原則2年間交付

・募集期間	2023年6月12日～8月31日
・応募件数	47件
◆選考経過	
・第1回選考委員会開催（募集方法等の審議）	2023年5月31日
・選考委員による申請書の評価	2023年9月4日～10月10日
・第2回選考委員会開催（交付対象者候補の選考）	2023年10月27日
◆交付対象者の決定、通知及び交付	
・2023年度第2回理事会にて決定	2023年11月14日
・決定通知完了	2023年11月17日
・交付対象件数	6件、附属明細書-1に掲載
・交付金額	300万円（各50万円）
・贈呈証書授与完了	2023年12月26日
・交付完了	2024年1月30日

2. 臨床薬理研究振興財団賞の贈呈（定款 第4条第1項第1号、第3号）

日本臨床薬理学会に設置された選考委員会に選考を委任し、臨床薬理研究振興財団賞を次のとおり交付した。

(1) 第34回(2023年度)臨床薬理研究振興財団賞

◆募集内容					
・募集件数	<table> <tr> <td>学術奨励賞</td> <td>2件</td> </tr> <tr> <td>学術論文賞</td> <td>3件</td> </tr> </table>	学術奨励賞	2件	学術論文賞	3件
学術奨励賞	2件				
学術論文賞	3件				
・募集期間	2023年4月3日～6月9日				
・応募件数	<table> <tr> <td>学術奨励賞</td> <td>6件</td> </tr> <tr> <td>学術論文賞</td> <td>38件</td> </tr> </table>	学術奨励賞	6件	学術論文賞	38件
学術奨励賞	6件				
学術論文賞	38件				
◆選考経過					
・第1回選考委員会開催（募集方法等の審議）	2023年2月6日				
・選考委員による申請書の評価	2023年7月24日～8月18日				
・第2回選考委員会開催（交付対象者候補の選考）	2023年9月5日				
◆交付対象者の決定、授与式及び交付					
・日本臨床薬理学会理事会にて決定（メール回付審議）	2023年9月12日				
・2023年度第2回理事会にて承認	2023年11月14日				
・交付対象件数	5件、附属明細書-2に掲載				
・交付金額	<table> <tr> <td>学術奨励賞 2件</td> <td>600万円（各300万円）</td> </tr> <tr> <td>学術論文賞 3件</td> <td>150万円（各50万円）</td> </tr> </table>	学術奨励賞 2件	600万円（各300万円）	学術論文賞 3件	150万円（各50万円）
学術奨励賞 2件	600万円（各300万円）				
学術論文賞 3件	150万円（各50万円）				
・授与式（第44回日本臨床薬理学会学術総会（神戸））	2023年12月16日				
・交付完了	2024年2月28日				

3. 研究報告集「臨床薬理の進歩」の発刊（定款 第4条第1項第5号）

(1) No. 44の編集・発刊

2023年4月8日に編集会議を開催し、次のとおり実施した。

・掲載論文 附属明細書-3に掲載

研究奨励金交付論文（2020年度）	17編
研究奨励金交付論文（2019年度）	2編
研究奨励金交付論文（2018年度）	1編
海外留学助成金報告	2編
計	22編

・発刊日 2023年6月20日

・配布先

大学医学部長、医科大学長、大学院研究科長など	89冊
大学薬/歯学部長、薬科大学長、大学研究所長など	96冊
大学医学系、薬学系主要講座など	605冊
附属病院長その他主要病院長	398冊
大学小児科教授、大学本院薬剤部長	164冊
財団役員、評議員、選考委員 他	92冊
交付者	20冊
図書館	56冊
その他助成財団、会社関係他	100冊
計	1,593冊

(2) No. 45の発刊準備

・掲載論文（予定）

研究奨励金交付論文（2021年度）	18編
研究奨励金交付論文（2020年度）	1編
海外留学助成金報告	1編
計	20編

・発刊予定年月 2024年6月

4. 研究報告会の開催（定款 第4条第1項第5号）

臨床薬理研究振興財団研究大賞（以下「研究大賞」という）受賞者等による第16回臨床薬理研究振興財団研究報告会（以下「研究報告会」という）を次のとおり実施した。

また、研究報告会の内容を1月15日より弊財団ホームページでオンデマンド配信を行うとともに、収録したDVDと研究大賞受賞者の別刷を冊子にまとめたDVD BOOKを作成・配布した。

（敬称略）

- ・日時 : 2023年11月14日（火）15時30分～19時30分
- ・開催会場 : 経団連会館 ダイアモンドルーム
- ・参加者 : 69名
- ・プログラム : 附属明細書-4に掲載

〈第1部〉 研究大賞表彰式

挨拶	理事長	齋 寿明
選考経過報告	理事・編集委員	藤村 昭夫
表彰式	研究大賞受賞者	

〈第2部〉 研究報告会 座長

理事 家入 一郎

理事 大内 尉義

演者 研究大賞受賞者 5名

海外留学助成金受給者 1名

閉会にあたって 評議員 宮坂 信之

【研究報告会】研究大賞の受賞者表彰と研究成果発表、及び海外留学修了者の研究報告の会で、今後の臨床薬理学の発展や臨床薬理研究者の育成に貢献することを目的に2008年度から実施している。

【研究大賞】当財団が交付した研究奨励金を用いて研究が実施され、その後、研究の成果として研究報告集「臨床薬理の進歩」に掲載された論文の中から、特に優秀で今後の発展が期待されるものを選び表彰するものである。

5. 臨床薬理学集中講座の開講（定款 第4条第1項第4号）

2023年度の臨床薬理学集中講座（以下「集中講座」という。）を以下のとおりWEBにて開催した。

本集中講座の一環として、第44回日本臨床薬理学会学術総会のプログラムの中で第7回臨床薬理学集中講座フォローアップ・セミナー（以下「フォローアップ・セミナー」という。）に組み入れていただき、当財団主催にて、2023年12月16日に開催した。本集中講座は、若手医師・薬剤師等が臨床薬理学を体系的・集中的に研鑽する場として、薬物療法の基本を実践し、臨床試験を通じたエビデンスの創造・発信ができる医療従事者・研究者の育成を趣旨とする。

集中講座を企画・運営するために、下記の臨床薬理学集中講座実行委員会、及び臨床試験企画立案演習チーム会を開催した。また、集中講座企画立案演習開催日までにWeb会（受講者間のリレーション構築のためのミーティング）を2回実施した。

臨床薬理学集中講座実行委員会

- 1) 開催日： 2023年5月19日
議 事： 第7回集中講座の受講者決定、
第7回フォローアップ・セミナー準備状況の確認
- 2) 開催日： 2023年11月14日
議 事： 第7回集中講座の結果報告
第7回フォローアップ・セミナー準備状況の確認
- 3) 開催日： 2024年2月9日
議 事： 第8回集中講座の募集要項・開催方法・講義内容等決定
第7回フォローアップ・セミナー開催報告

臨床試験企画立案演習チーム会

- 1) 開催日： 2023年5月16日
議 事： 募集状況報告、受講生班編成、第7回プログラム検討等
- 2) 開催日： 2023年6月13日
議 事： 開催準備状況報告、演習テーマ検討等
- 3) 開催日： 2023年7月11日
議 事： WEB会の検討、患者同意説明文書の検討、演習テーマの起案状況確認等
- 4) 開催日： 2023年7月20日
議 事： WEB会の確認、企画立案演習課題の最終確認等

Web会（受講者間のリレーション構築のためのミーティング）

- 1) 開催日： 2023年7月31日
内 容： 班ごとに自己紹介、「患者同意説明文書」作成等
- 2) 開催日： 2023年8月3日
内 容： 作成した「患者同意説明文書」の発表、企画立案演習課題の説明等

臨床試験企画立案演習

- 開催日： 2023年9月3日
内 容： 臨床試験企画立案演習

第7回臨床薬理学集中講座フォローアップ・セミナーの概要：附属明細書-5に掲載

6. 附属明細書

【附属明細書－1】

2023 年度（第 48 回）研究奨励金、海外留学助成金及び若手研究支援交付対象者

◆研究奨励金 27 件（1 件 300 万円）

（敬称略 50 音順）

氏名	所属機関	研究テーマ
糸原 光太郎	神戸大学医学部附属病院 薬剤部	症候性先天性サイトメガロウイルス患者におけるバルガンシクロピルの至適個別化に向けた PK-PD 解析
井上 裕介	浜松医科大学 医学部附属病院第二内科	免疫チェックポイント阻害薬による免疫関連有害事象を予測する機械学習を用いた非小細胞肺癌循環サイトカインシグネチャーの構築
岩田 浩明	京都大学 大学院医学研究科	機械学習による臨床血漿中薬物濃度推移予測 - remifentanil バーチャル及び実データへの適用
桂田 健一	自治医科大学 医学部薬理学講座 臨床薬理学部門	治療抵抗性高血圧に対する至適薬物療法の確立
加藤 勝洋	名古屋大学 医学部附属病院 循環器内科	収縮性が保持された心不全へ対する国産治療法の開発
川添 麻衣	東邦大学 医学部内科学講座 膠原病学分野(大森)	ビスホスホネート製剤投与下のステロイド性骨粗鬆症に対する、ロモズマブおよびデノスマブによる逐次療法の有効性の比較検討
國本 博義	横浜市立大学 医学部 血液・免疫・感染症内科	ミトコンドリア代謝標的による抗がん剤耐性克服戦略
久保田 洋平	聖マリアンナ医科大学 医学部臨床腫瘍学講座	未治療の切除不能または再発食道癌に対する mFOLFOX6 + ニボルマブ療法の第Ⅱ相試験
公文代 将希	東北大学病院 薬剤部	臨床実装を指向した生体内 CYP2D6 活性予測バイオマーカーの有用性検証
倉根 超	自治医科大学 小児科学	自閉症スペクトラムに対する機能性糖質の安全性と有効性の解析
小林 一男	公益財団法人がん研究会有明病院 薬剤部	実臨床での悪液質患者に対するアナモレリン錠長期投与における QOL 改善効果の解明
齋藤 敦	広島大学大学院 医系科学研究科 分子細胞情報学	エピゲノム編集技術を駆使した膠芽腫に対する新規診断・治療法の開発
佐藤 尚子	理化学研究所 生命医科学研究センター	小児期に発症する好酸球性胃腸炎の発症メカニズム解明と治療への応用研究
杉野 政城	国立病院機構 四国こどもとおとなの医療センター 新生児内科	TDM とストレスマーカーを用いた早産児カフェイン療法の安全性評価
竹田 安孝	金沢医科大学 医学部 糖尿病・内分泌内科学	新規 GLP-1 受容体作動薬セマグルチドの骨格筋量ならびに治療関 QOL に対する影響:ランダム化比較試験による検証
田尻 和子	国立がん研究センター 東病院 循環器科	マルチオミクス解析を用いた免疫チェックポイント阻害薬関連心筋炎の病態解明
富樫 庸介	岡山大学 学術研究院 医歯薬学域(医学系)	腫瘍微小環境における細胞傷害性 CD4 陽性 T 細胞の本態解明
鳥居 ゆか	名古屋大学 医学部附属病院小児科	小児における NUDT 多型とガンシクロビル/バルガンシクロピルの効果や副作用について
内藤 祐二郎	大阪大学 大学院医学系研究科 呼吸器免疫内科学	免疫セマフォリンを用いた固形がんの新規個別化バイオマーカー及び新規治療法の開発
中島 誠	聖マリアンナ医科大学	HTLV-1 関連脊髄症の炎症病態原因分子 MAP3K8 の同定と MEK 阻害剤の有効性に関する非臨床データの解析
濱野 裕章	岡山大学病院 薬剤部	医療情報を活用した免疫療法誘発心筋炎予測デバイスの日米共同開発
平 大樹	京都大学 医学部附属病院 薬剤部	臓器移植患者に対する薬物動態関連遺伝子多型の先制的網羅的解析による有効性・安全性評価に関する研究

星川 吉正	日本医科大学 消化器内科学	ランダム化比較試験:治療抵抗性胃食道逆流症におけるレンボレキサントの逆流症状への効果についての研究
松沢 優	東京医科歯科大学 大学院歯学総合研究科 疾患生理機能解析学分野	パネート細胞に着目したクローン病の病態解析
三浦 基靖	静岡県立大学 薬学部実践薬学分野	肺高血圧症治療の最適化に向けたリアルワールドでの小児成人混合薬物動態解析
八木 健太	徳島大学病院 総合臨床研究センター 社会実装推進部門	抗 VEGF 療法における最適な支持療法薬の確立
山下 泰伸	和歌山県立医科大学 消化器内科	胆道閉塞を伴う切除不能胆道癌に対する 内視鏡的ラジオ波焼灼療法併用ゲムシタピン+シスプラチン+デュルバルマブ治療の 安全性・有効性を評価する第Ⅱ相試験

◆海外留学助成金 2 件 (1 件 750 万円/年)

(敬称略 50 音順)

氏名	所属機関	留学施設名(国名)	期間	研究テーマ
千村 美里	大阪大学 医学部附属病院 ハートセンター	グラスゴー大学 心臓血管研究センター (イギリス)	2 年	左室駆出率が保持された心不全(HFpEF)患者における心不全治療薬の有効性に関する検討
西脇 寛	名古屋大学大学院 医学系研究科	スタンフォード大学 医学系研究科 (アメリカ)	2 年	腸内細菌・血液・wearable device から得られる時系列データ統合解析による疾患の発症と症状進行の予測

◆若手研究支援 6 件 (1 件 50 万円/年)

(敬称略 50 音順)

氏名	所属機関	研究テーマ
小澤 秀介	信州大学医学部附属病院 薬剤部	周産期薬物治療の最適化を目指した新規抗うつ薬の母乳/胎盤移行性の評価
寛 康正	神戸大学医学部附属病院 臨床研究推進センター	下顎第三大臼歯の抜歯患者を対象とした抜歯窩に選択的 COX2 阻害剤含有ペーストを 充填する安全性と有効性を評価する第Ⅰ相、非盲検、単群試験
片田 佳希	京都大学医学部附属病院 薬剤部	肺移植患者におけるイトラコナゾール併用下での薬物動態・薬理遺伝学に基づくタクロリムスの個別化投与方法の開発
中野 正博	理化学研究所 生命医科学研究センター ヒト免疫遺伝研究チーム	全身性エリテマトーデスの個別化薬物療法に向けた、新たな遺伝的リスクスコアの開発と治療反応性に関わる分子機構の解明
松田 将門	福島県立医科大学 保健科学部臨床検査学科	直接経口抗凝固薬(DOAC)療法中における血栓性素因の評価法: DOAC による測定干渉を受けない検査法の確立
渡辺 史也	明治薬科大学 薬物動態学研究室	肺 MAC 患者を対象とした、肺病変部位毎の抗菌薬分布特性の解明

【附属明細書-2】

第 34 回 (2023 年度) 臨床薬理研究振興財団賞

(学術奨励賞 2 件: 600 万円 (各 300 万円)、学術論文賞 3 件: 150 万円 (各 50 万円)) (敬称略)

	氏 名	所属機関	研究テーマ・受賞論文タイトル (掲載誌)
学術奨励賞	座間味 義人	岡山大学病院 薬剤部	データサイエンスを起点とした抗がん剤 誘発末梢神経障害の予防法開発
	林 久允	東京大学大学院 薬学研究科	小児胆汁うっ滞性肝疾患の治療最適化に 向けた患者層別化指標の創出
学術論文賞	清水 美貴子	就実大学 薬学部 薬物動態学研究室	Comparison of Clinical Equivalence of Infliximab and its Biosimilar Combinations with Methotrexate in the Treatment of Rheumatoid Arthritis. 臨床薬理 第 53 卷
	長島 卓也	日本大学 医学部 生体機能医学系 薬理学分野	Identifying Antidepressants Less Likely to Cause Hyponatremia: Triangulation of Retrospective Cohort, Disproportionality, and Pharmacodynamic Studies. Clinical Pharmacology & Therapeutics 第 111 卷
	前島 多絵	帝京大学 薬学部 臨床薬学講座 臨床薬剤学研究室	Risk of Unfavorable Outcomes of Thromboembolism with Antipsychotic Drug Use: Analysis Using the Japanese Adverse Drug Event Report Database. 臨床薬理 第 53 卷

【附属明細書-3】
研究報告集「臨床薬理の進歩」No.44 掲載論文

2020 年度 研究奨励金交付論文 17 編

(敬称略 50 音順)

氏名	所属 (交付時)	論文名
荒井 誠	東北大学 大学院医学系研究科 分子代謝生理学分野	腸内細菌叢を標的とした骨折予防戦略の構築
池村 健治	大阪大学医学部附属病院 薬剤部 大阪大学大学院医学系/ 薬学研究科 病院薬剤学	リネゾリド誘発性血小板減少に及ぼすプロトンポンプ阻害薬併用の影響
岩谷 綾香	埼玉医科大学総合医療センター	未熟児動脈管開存症に対するアセトアミノフェン静注療法の薬物動態に関する研究
上島 智	立命館大学薬学部 医療薬学研究室 2	アピキサバン内服による出血症状の危険因子に関するゲノム薬理学と薬剤疫学の融合研究
歌野 智之	国立成育医療研究センター 薬剤部	日本人小児がん患者に対する制吐剤目的のオランザピンの有効性および安全性
遠藤 仁	慶應義塾大学医学部 循環器内科	生理活性脂質を用いた肺高血圧症の新規治療法の開発
庄司 健介	国立成育医療研究センター 感染症科	遺伝的要因がポリコナゾールの薬物動態に与える影響
田島 壮一郎	九州大学病院薬剤部	腎移植患者における subclinical rejection を検出する非侵襲的なバイオマーカーの開発
田中 博明	三重大学大学院医学系研究科・ 医学部 産科婦人科学	胎児-胎盤機能改善を目的としたタダラフィルを用いた新規治療薬の開発
田村 雄一	国際医療福祉大学医学部 循環器内科学	免疫チェックポイント阻害薬投与に伴う心筋障害の網羅的解析
橋本 佐	千葉大学大学院医学研究院 精神医学、国際医療福祉大学 医学部 精神医学教室	妊娠期の抗精神病薬治療に関する母児の安全性評価-心理・社会的困難を有する妊娠女性とその児および家族に関する前向き観察研究 (FOWPs study) の中間解析結果より
人見 祐基	星薬科大学薬学部 微生物学研究室	重症薬疹の全ゲノム DNA 解析情報を活用した発症機序の解明
細矢 匡	東京医科歯科大学大学院 医歯学総合研究科 膠原病・リウマチ内科学	炎症性疾患の発症・再燃を予防する新規薬剤の開発
堀 美香	東海国立大学機構 名古屋大学 環境医学研究所 内分泌代謝分野	遺伝性高コレステロール血症患者由来 iPS 細胞を用いた病態再現の試み
増田 隆洋	東京慈恵会医科大学 外科学講座 上部消化管外科	ボノプラザン抵抗性 GERD 患者の酸分泌状態の評価
松本 洋太郎	東北大学大学院薬学研究科	網羅的修飾核酸測定法の開発とがん精密診断への応用
武藤 淳	藤田医科大学 脳神経外科	インドシアニングリーン (ICG) を用いた術中脳脊髄腫瘍のリアルタイム蛍光診断の確立

2019 年度 研究奨励金交付論文 2 編

小金丸 茂博	国立がん研究センター東病院 先端医療科	薬剤耐性克服のための組織中 PK/PD 評価システムの開発
牧野 知紀	大阪大学大学院医学系研究科 消化器外科学	腫瘍周囲 3 次リンパ様構造は食道癌の予後および免疫療法の治療効果を予測する

2018 年度 研究奨励金交付論文 1 編

今井 利美	自治医科大学医学部薬理学講座 薬理学部門	脂質低下療法中の心血管イベント発症予測因子の探索
-------	-------------------------	--------------------------

海外留学助成金報告 2 編

諸星 北人	昭和大学医学部 衛生学公衆衛生学講座	カロリンスカ研究所留学報告
久保 智史	産業医科大学医学部 分子標的治療内科学講座	米国立衛生研究所留学報告

第15回研究報告会

日時：2023年11月14日（火） 15:30～19:30

場所：経団連会館（東京都千代田区大手町1丁目3-2）

第1部 臨床薬理研究振興財団 研究大賞表彰式（15:30～16:00）

挨拶	理事長	齋 寿明
選考経過 報告	自治医科大学 名誉教授（理事・編集委員）	藤村 昭夫 先生
表彰式	研究大賞受賞者	

第2部 研究報告会（16:10～18:00）

【研究報告】

座長	九州大学病院 教授・薬剤部長（理事）	家入 一郎 先生
	九州大学大学院薬学研究院・臨床薬物治療学分野 教授	
	東京大学 名誉教授（理事）	大内 尉義 先生

国家公務員共済組合連合会 虎の門病院 顧問

アピキサバン内服による出血症状の危険因子に関するゲノム薬理学と薬剤疫学の融合研究

立命館大学薬学部 医療薬学研究室 上島 智 先生

重症薬疹の全ゲノム DNA 解析情報を活用した発症機序の解明

国立国際医療研究センター研究所 疾患ゲノム研究部 人見 祐基 先生
(元:星薬科大学薬学部 微生物学研究室)

網羅的修飾核酸測定法の開発とがん精密診断への応用

東北大学大学院薬学研究所 がん化学療法薬学部分野 松本 洋太郎 先生

生理活性脂質を用いた肺高血圧症の新規治療法の開発

慶應義塾大学医学部 循環器内科 遠藤 仁 先生

インドシアニングリーン（ICG）を用いた術中脳脊髄腫瘍のリアルタイム蛍光診断の確立

藤田医科大学医学部 脳神経外科 武藤 淳 先生

【留学報告】

米国立衛生研究所留学報告（米国）

産業医科大学医学部 分子標的治療内科学講座 久保 智史 先生

【まとめ・講評】

東京医科歯科大学 名誉教授（評議員） 宮坂 信之 先生

第3部 情報交換会（18:10～19:00）

【出捐者代表挨拶】 第一三共株式会社社長兼 COO 奥澤 宏幸 様

【乾杯】 日本臨床薬理学会 理事長 植田 真一郎 先生

【附属明細書-5】

第7回臨床薬理学集中講座フォローアップ・セミナー(2023年12月16日 神戸)

座長：乾 直輝 先生 (浜松医科大学臨床薬理学講座)

- ・循環器内科学と臨床薬理学の研究を通して～これまでとこれから～

鈴木 敦 先生 (東京女子医科大学循環器内科)

- ・集中講座のネットワークを活用した「ポリファーマシー」の観点による
臨床薬理共同研究推進の取り組み

鈴木 啓介 先生 (国立長寿医療研究センター)

- ・臨床薬理学集中講座受講者による多施設共同研究

武智 研志 先生 (松山大学薬学部医療薬学科医薬情報解析学)

- ・医療 DX による研究マネジメントおよび共同研究リレーションの構築

萩原 宏美 先生 (三重大学医学部附属病院薬剤部)

- ・集中講座の紹介

臨床薬理研究振興財団

